



年長さんも津波学習

移動理科教室実施

8月28日(火)に春松小学校、羅臼小学校に札幌の道立研究所附属理科センターからサイエンスカー(道内に1台しかありません)がやって来ました。一緒に職員の方4名も来校しました。5・6年生は、科学について様々な体験や実験を通して学びました。最先端の技術や研究に触れたり、液体窒素を使った理科実験をしていただきました。子どもたちは、大変興味を持って実験や体験に望んでいました。



羅小で行われた液体窒素実験



ソーラーカー(春松小)



サイエンスカーの内部



サイエンスカー

津波学習

9月11日(火)羅臼小学校、12日(水)春松小学校で6年生の児童を対象に教育大学釧路校の学生による「津波学習」が行われました。

津波学習は、毎年釧路校の学生が羅臼町に訪れ継続して実施されています。

今年度も、津波を起こす学生手作りの津波発生機を持ってきて行われました。

普通の波と津波のちがい、津波の種類、津波の威力、国後があることによる津波が羅臼に与える影響など発生機を使用して実際に波や津波を起こし見せてくれました。

また、津波が起こったときにどう対処するのかなども学ぶことができました。

普通の波は、風力で起こること、津波は地震による海底が動くことによって起こること、津波には引き波と押し波があり、海底から海面まで動かすこと、国後があっても羅臼に津波は押し寄せること。津波が起こったらまず高いところに逃げることを学びました。津波が起こったときは、自分の考えで即座に行動することが大切だということも学びました。

津波学習の後の児童のわかったこと(ワークシートより)

- ・津波は、小さくても強いこと。・波と津波のちがい
- ・行動の仕方、津波の危険性 ・波は風でできて、津波は地震でできる ・津波は高さが低くても勢いがある。
- ・引き波は引いてから来る、押し波はそのまま来る。

家にいるとき地震が発生し、津波警報がでました。あなたはどのような行動をしますか。(ワークシートより)

- ・とにかく走って、高いところへ逃げる。
- ・地震がいつ来ても言いように準備をしておく。
- ・少しでも早く逃げる。 ・展望台に走って逃げる。
- ・自分の本当の大事なものでできるだけ食料を持って家族で走って逃げる。(高いところ)もしはぐれたらどこに集まるか決めておく



春松小 ←



→ 羅臼小

11日(火)に羅臼小学校で行われた6年生の津波学習の後に、羅臼幼稚園の年長さんも引き続き津波学習が行われました。年長さんの津波学習は、教育大学釧路校の境教授と大学4年生によって行われました。

うちわや空気砲を使って風を体感することが行われた後、風と津波のちがいを津波発生機で見てから、津波を体感しました。水の中に園児が自分の両手を入れているところに実際に津波を起こし、津波の威力を手に感じました。津波を手に感じたときには、波が腕の上の方まで来て驚きの声を上げていました。

津波を感じた後は、大学生による東日本大震災に実際にあったお話を紙芝居にしたものを読んでもらいました。地震が起きたときにどう逃げたら良いのかわかりやすくしたものです。園児の皆さんも真剣に聞いていました。



紙芝居で、「津波が来たときにどうしたらよいか」学びました。

日本語検定

11月9日(金)実施

あなたも日本語検定にチャレンジしてみませんか。

日本語検定は、小学校3年生から大人まで受験することができます。7級から1級までです。詳しくは、同時に配布されるチラシをご覧ください。小中高校生は、受験料半額が補助されます。

お問い合わせは、教育委員会 87-2129(山本まで)

《中高生のための次世代リーダー養成塾 ～管内の次世代を担うリーダー達が集結!!》

8月7日(火)から8月8日(水)の1泊2日で羅臼町公民館を会場に「平成30年度中高生のための次世代リーダー養成塾」が開催されました。

この事業は、根室管内の中高生を対象に学校はもちろん暮らしているそれぞれの町で積極的にまちづくりに取り組んでほしいという願いと、次代を担う青少年として学びと交流から様々な考えがあることに気づき、他人や地域の困りごとを自分のことのように考えることができる視点をもってほしいという思いから、根室管内社会教育主事会が主催しました。

初日の演習「ピタゴラスイッチ～養成塾版～」では、会場内にあるモノを使い「日本一難しいオリジナルコースを、完璧に作り上げたミニ四駆を走らせ空き缶を倒す」というミッションにグループ毎にチャレンジ。イスやテーブル、段ボールを駆使して各グループ独自のコースをつくりあげていました。コースは完璧でも直前にミニ四駆が動かなくなったり・・・完璧に走っていたミニ四駆が空き缶の横を通り抜けたり・・・、ミッションにチャレンジしたグループのうち1グループだけがミッション達成となりました。

この演習の振り返りでは、試行錯誤してミッション達成を目指したように、小さな失敗とチャレンジを繰り返し、時には周りのアドバイスや自己分析をしながら目標に向かっていくことが大事だということや、困難を乗り越えた時ほど大きな充実感が味わえることなどを全体で共有しました。

1市4町の特産品を持ち寄り開催したBBQ交流会、羅臼の絶景を見ながら歩いた朝の散歩、管内の仲間たちと過ごした1泊2日は、参加した次代を担う15名のリーダー達にとって有意義な時間となったことでしょう。



チャレンジグルメコンテスト 試食会

9月13日(木)に第6回高校生チャレンジグルメコンテスト町内試食会が開催されました。

羅臼高校のフードデザインの生徒さんが今年度出品するものは、「らうすコロっと飯(はん)」です。試食会では、これまで協力してくれた羅臼の応援団の方々も含め30名近くの参加で行われました。

高校生は、前日から準備を進め試食会の当日に望みました。このチャレンジグルメコンテストは、今まで5回行われておりその内3回で羅臼高校はグランプリを獲得しています。

高校生は、必ず実現させること!!として2つの目標を掲げています。

①「第6回高校生チャレンジグルメコンテスト」グランプリ受賞
平成30年10月7日(日)に音更町で開催される「第6回チャレンジグルメコンテスト」において、今年度もグランプリを目指します!!

②開発レシピの商品化
「らうす大漁焼き」、「らうす紅白揚げ」、「らうす豊漁まん」、「らうすトロイカップ」の過去のレシピ、今年度の開発レシピの商品化を目指します。!全ての飲食店ではなく、レシピの特性を含め商品化に向けた可能性をさぐりながら実現に向けて、地域の活力となるよう取り組みます。

このように高い意識を持ってこの取り組みを進めています。試食会では、「らうすコロっと飯」につけて食べるソースも示され、5種類の中からどのソースが一番相性が良いのかも、選ぶようになっていました。

最後の評価・感想では、「大変おいしい」「あと少し手を加えたら最高のものになる」「コンテストでは頑張してほしい」など出ていました。

コンテストでは、今年から出品作品に対するプレゼンや質疑応答もあり、これもグランプリに向けての重要なポイントになるとのことでした。

高校生には、是非今年も目標である「グランプリ」獲得に向けてあと少し万全の準備をして望んでほしいと思います。



らうすコロっと飯と試食用ソース



試食会の様子

釧路大生基礎実習実施 9月10日(月)～14日(金)

9月10日(月)から14日(金)までの1週間教育大学釧路校の2年生が羅臼小学校と春松小学校に「基礎実習」として入りました。春松小学校に5名、羅臼小学校に4名が入りました。それぞれ各学年に別れて教室に入り、担任の先生の授業を参観し、授業のノウハウや留意すべきこと。また、子どもとの接し方など多くのことを1週間で学ぶことができたのではないかと思います。さらに、担任の先生方の研究授業があったときなどは、授業参観の後に授業についての話し合いにも参加し、授業研究の仕方、進め方、授業づくりについてや、授業を見ての感想なども話し合ったのではないかと思います。

多くのことを学び大学に戻り今後の教育実習や教員になってからの授業づくりなどに役立ててほしいと思います。(基礎実習～教育大学の学生が教室に入り、実際に教員の仕事の基礎を学ぶことです。3年生になると教育実習があります。)



知床未来中学校 校門完成

10月末外構工事の完成に向けて着実に工事が進んでいます。

